2015年トレンド予測

飲食領域

まだ、ここにない、出会い。

RECRUIT

『ホットペッパー グルメ』『HOT PEPPER』のご紹介

日本最大級のグルメ・クーポン情報サイト、情報誌

PCサイト

ホットペッパー グルメ

総掲載店舗数：約75万店
詳細情報掲載店舗数：約8.8万店
※2014年11月時点

モバイルサイト・アプリ

ホットペッパー グルメ

ケータイ　スマートフォンアプリ

フリーペーパー

HOT PEPPER

全国50版＋１タブロイド誌
※首都圏４版は美容情報のみ掲載
月刊発行部数：350万部以上

飲食領域における2015年予測

キーワード

企業のオフィシャルなコミュニケーションの場
（歓送迎会、忘新年会、懇親会、達成会etc.）
が昼間に設けられる傾向

部ランチ

子育て世代の女性の就労率の上昇に伴い、
夜に開催される会社宴会に参加が出来ない人が増加。

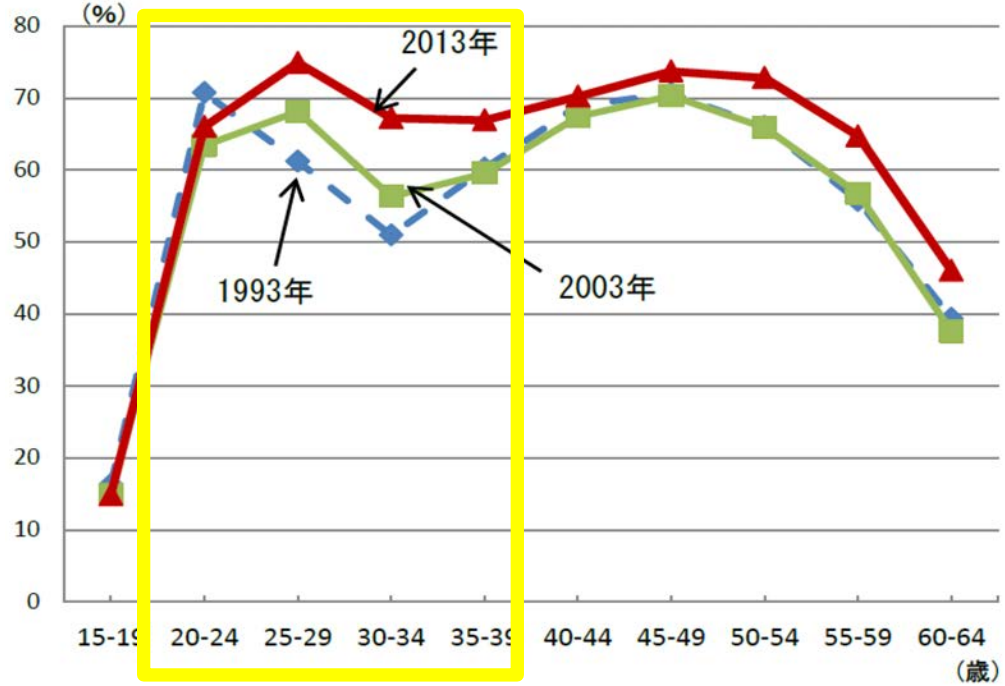
また、ワークライフバランスへの意識変化や
子育て女性に限らないプライベート確保の機運などからも
企業内の懇親行事の開催が**夜→昼に移行**するケースが増加。

「部ランチ」の背景

働く女性の増加と今後への期待

- 子育て世代の**女性の就業率の上昇**。（下図参照）
- 政府による、女性管理職目標の設定の検討。
- 2020年東京オリンピック開催決定による、女性の労働力への注目。
- 社会のあらゆる分野で、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%以上とする目標=**“20年30%”にぃまる・さんまる**。

■年齢階級別就業率（女性）



出典：総務省統計局
「女性の就業率上昇
-M字カーブの変化-」
（2013年）

「部ランチ」が求められる構造①

子育て世代の女性に限らず、「拘束時間」への不満が徐々に顕在化。

社会

・女性の社会進出の支援
・ダイバーシティ（多様な働き方）の推進
・ワークライフバランス改善

企業

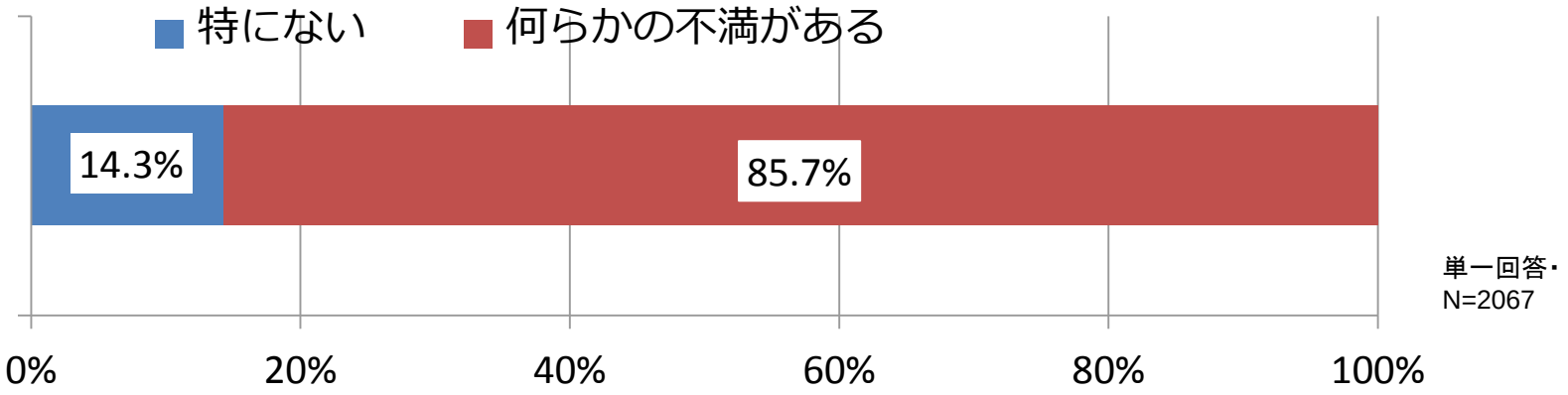
・勤務時間以外の拘束に対する不満
・時間以外でも、旧来の慣習への不満
（夜の付き合いが出世に影響、
付き合いの出費がかさむ、etc.)

個人

「部ランチ」が求められる構造②

86%のフルタイムワーカーが**夜の懇親会に何らかの不満**を持っている。

夜の懇親会への不満の有無と不満内容トップ3



不満1位：「翌日に疲れが残る」51.0%
不満2位：「プライベートが削られる」50.3%
不満3位：「お金がかかる」50.0%

複数回答・N=2,067

調査概要：
調査方法：株式会社マクロミルの登録モニターを対象としたインターネット調査
対象：20代～40代、2,067名のフルタイムワーカー（週30時間以上）
調査期間：2014年10月24日（金） ～ 2014年10月25日（土）

以下ページも同

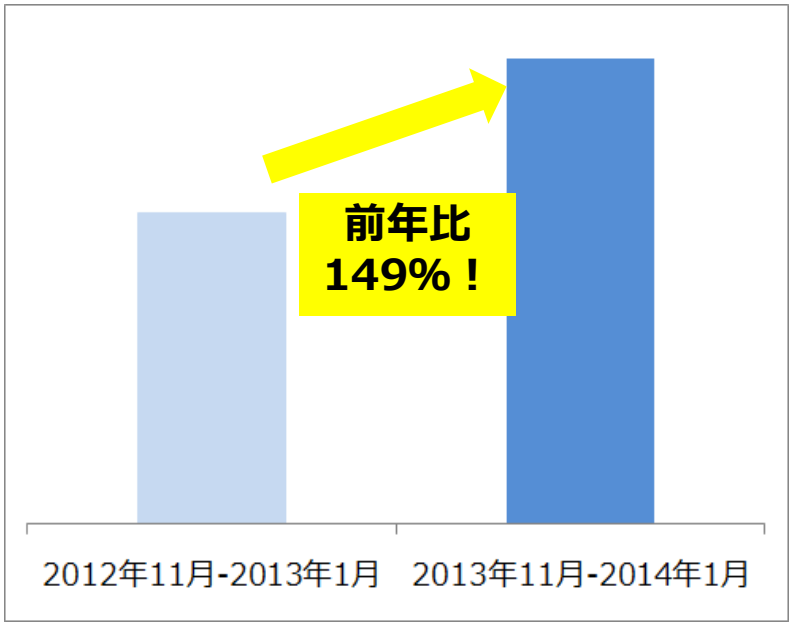
「部ランチ」の兆し

『ホットペッパーグルメ』WEBサイトにて

- **「昼 忘年会/新年会」「ランチ 忘年会/新年会」**検索数は**前年比149%**。
- **昼の時間帯のネット予約**件数（※①）は**前年比230%**（※②）（14年9月実績）。

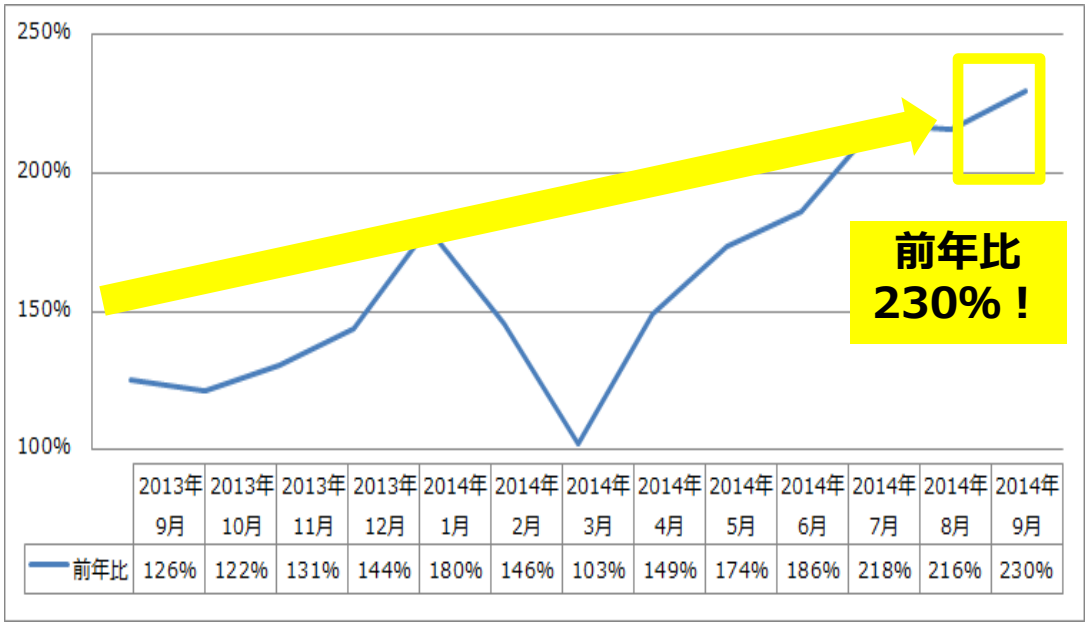
※①ホットペッパーグルメのWEB経由で、 11時～15時を開始時間として飲食店を予約した件数。
※②全時間帯のネット予約件数は、前年比208%。（14年9月実績）

「昼 忘年会/新年会」
「ランチ 忘年会/新年会」
検索数の前年比



データ元：ホットペッパーグルメ　フリーワード検索数（PC＋スマートフォン）

昼の時間帯の
ネット予約件数の前年比推移



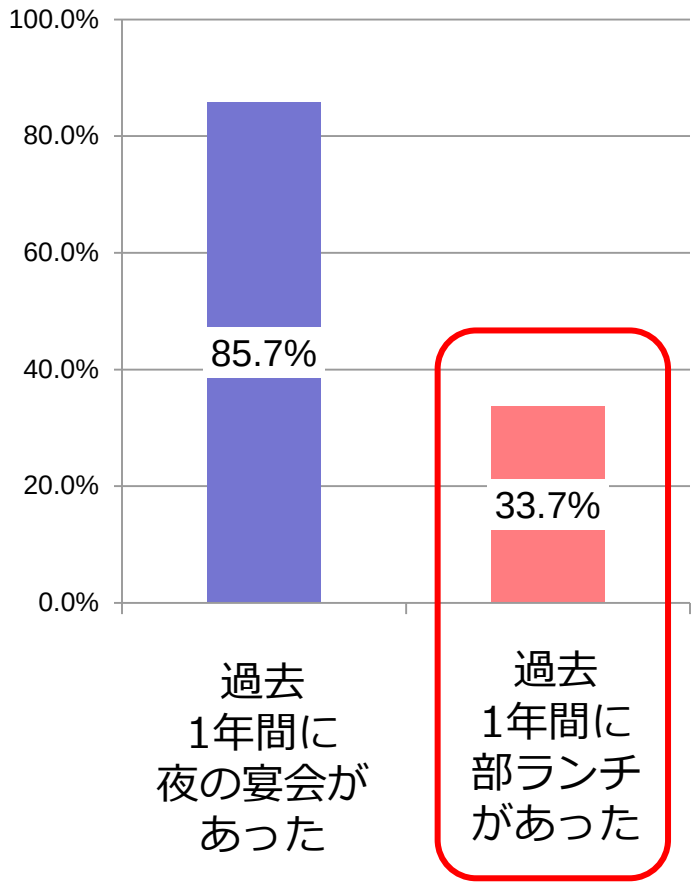
	2013年9月	2013年10月	2013年11月	2013年12月	2014年1月	2014年2月	2014年3月	2014年4月	2014年5月	2014年6月	2014年7月	2014年8月	2014年9月
前年比	126%	122%	131%	144%	180%	146%	103%	149%	174%	186%	218%	216%	230%

データ元：ホットペッパーグルメ経由のネット予約件数

企業内懇親会の実情

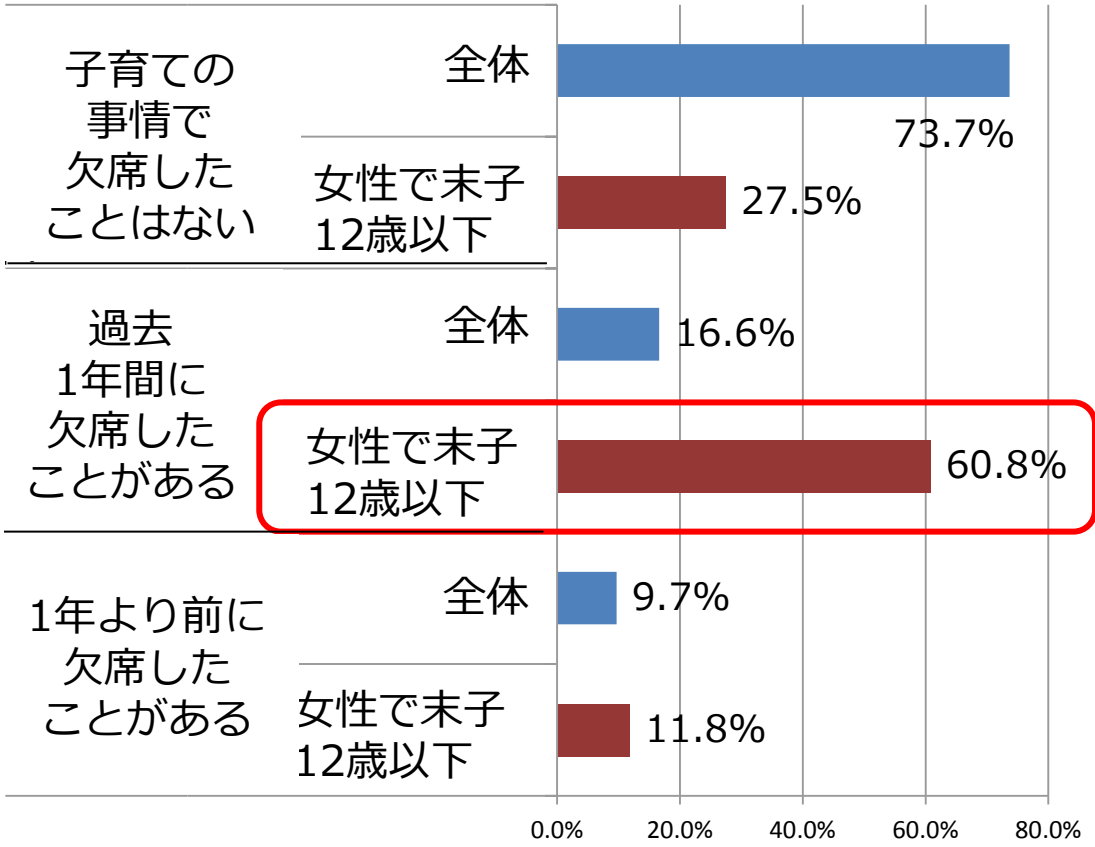
夜の懇親会に比べ、昼の懇親会の実施率はまだ低く3割台。
夜の懇親会では、子育て世代の**6割以上で「欠席経験」**。

過去1年間での
夜・昼の懇親会の実施状況



N=2,067

夜の懇親会へのハードル・
未子年齢12歳以下女性では6割が欠席経験



N=2,067、女性で未子12歳以下はN=102

「部ランチ」の今後①

「部ランチ」フリーコメントは**賛否両論**。

●賛成　→ 子育て以外でも**「短時間化」「プライベート確保」**は賛同意見が多い

●反対・微妙 → **「子育てだけを特別視？」「昼でも全員は参加できない」「お酒は必要」「男性の協力が足りない」「昼でも強制参加は嫌」**など

賛成

■社内の飲み会は、子持ちだと参加しづらく疎外感を覚える。夜の行事は否定しないが、みんなが参加しやすいようになるとよい。（29歳・女性）

■毎日社内で顔を合わせている人とわざわざ夜に数時間話すのは苦痛。育児をしているメンバーがいることで社内行事が昼になり、1時間弱で済むのは助かっている。（30歳・女性）

■行事はできれば参加したいので、昼間だと、夜は子供の面倒が見れる。（45歳・男性）

■会社行事でプライベートの時間が削られることは避けるべき。歓迎したい。（28歳・男性）

■昼間に歓送迎会があると助かります。もっと流行ってくれたら、うちの会社でも前向きに検討されるかなー。（30歳・女性）

反対 微妙

■わざわざ昼にする必要はない。社内行事は夜にやって、育児している人は欠席すればよいだけ。（32歳・男性）

■夜にお酒を飲みながらの方が腹を割った話ができる。（26歳・男性）

■昼間だと仕事都合で一同に参加することが難しい。育児優先のためだけで、昼間開催がメインになることはないと思う。（30歳・女性）

■男性の育児参加が進んでいないことの表れ。昼開催よりも、育児から解放されて夜の行事に参加するのが良い。（42歳・男性）

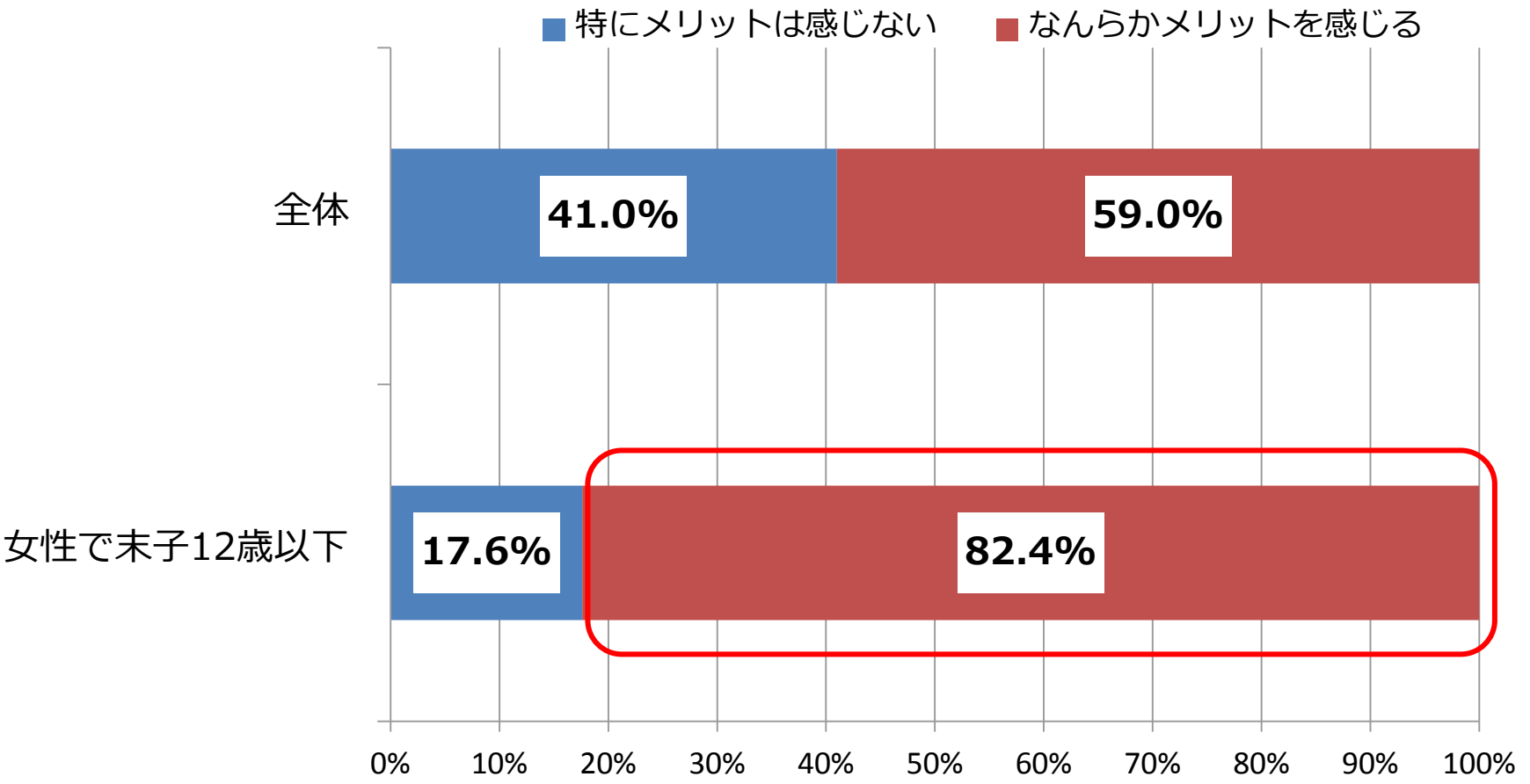
■昼に行事をすると絶対参加しなくてはいけない状況になるので嫌です。（39歳・女性）

■部長世代が育児は女性がする環境で育ったので浸透には時間がかかる。（33歳・男性）

「部ランチ」の今後②

「部ランチ」、**子育て世代は8割が「メリット感じる」**。

【外食を伴う会社の懇親会】を昼間の時間帯に行うことに対して、メリットを感じますか？

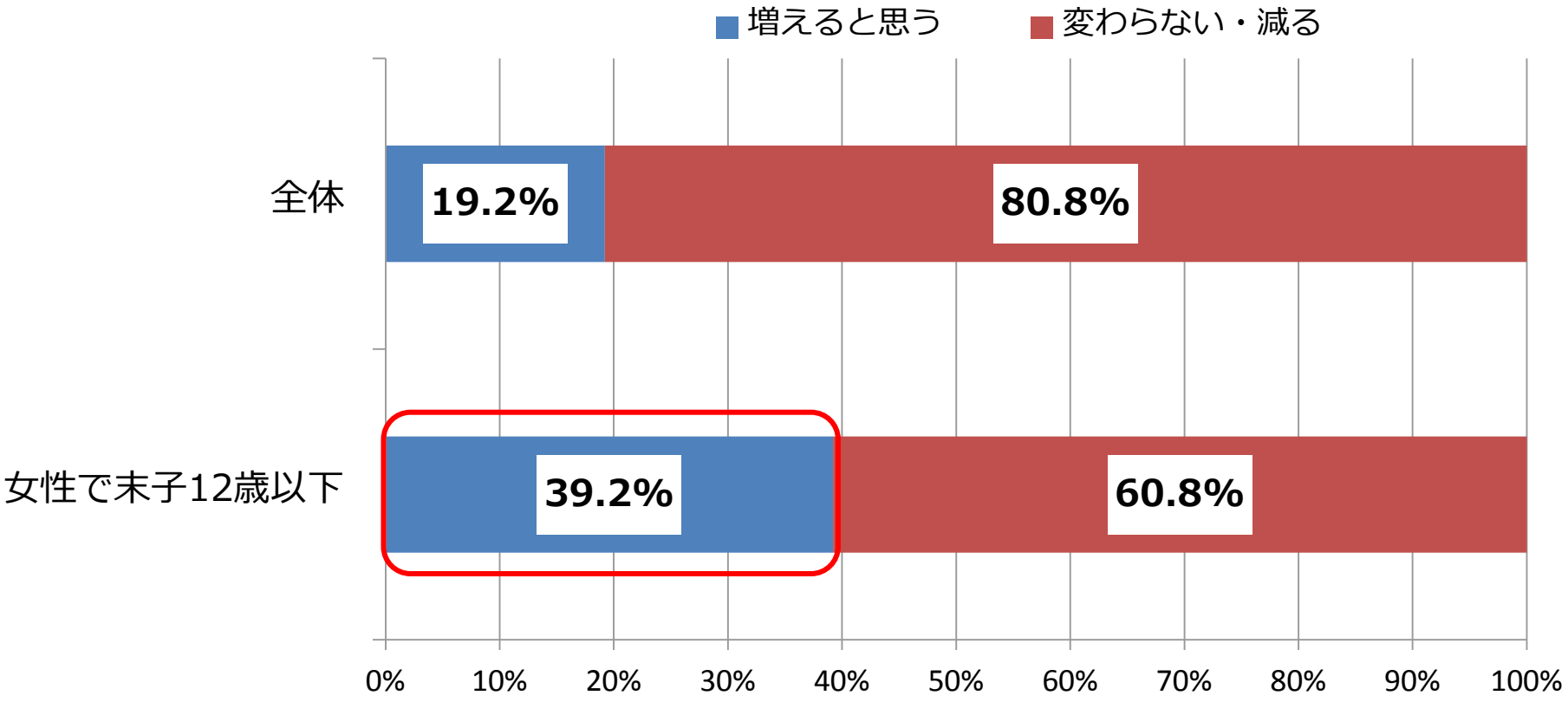


N=2,067、女性で末子12歳以下はN=102

「部ランチ」の今後②

「部ランチ」は、**子育て世代の女性では高い参加意向**。

【外食を伴う夜の懇親会】に代わって昼の短時間の懇親会が増えると、あなた自身が参加する回数は増えると思いますか？



N=2,067、女性で末子12歳以下はN=102

「部ランチ」具体的には・・・

「部ランチ」の予算は**平均2,600円**、開催場所は**レストランが6割**。

「部ランチ」の実情

平均予算：
2639円

部ランチの場所：
レストラン62%

「昼の方がコスパがよい」
29%

「プライベートの時間が確保される」
28%

「翌日に疲れが残らない」
24%

「お酒を飲まなくて済む」
22%

データ・コメントは「部ランチ」調査での「昼に懇親会を実施するメリット」より（複数回答、N=2,067）

「部ランチ」開催する企業実例①

女性社員の多い企業の管理職に聞いた、「部ランチ」を開く理由。

弊社は**女性社員率が40%**と高く、**ママ社員**も徐々に増えてきています。それゆえ**「女性の働きやすい環境」**づくりが全社的なテーマであり、**「部ランチ」**もその一環と言えます。

元々、中途入社の方の初出社日には必ず**「ウェルカムランチ」**を開催していますが、全社的に見ると、歓送迎会や壮行会などの懇親会は、まだまだ夜に開催されることが多いのが現状です。

しかし、ママ社員の多い部署は、**全員が懇親会に参加できるよう**、自主的に昼の時間帯に行うなどの動きが出始めています。

懇親会の費用は自己負担ですので、**ランチだと美味しいものが手頃な値段で食べられる**ことも魅力のひとつのようです。

株式会社マクロミル
マーケティングリサーチ事業本部　第2営業部長
原様

「部ランチ」開催する企業実例②

女性社員の多い企業の管理職に聞いた、「部ランチ」を開く理由。

私の課はメンバー4名中2名がママ社員で、時短制度を活用して働くメンバーもいます。部全体の歓送迎会などは夜の開催が多いため、それに加えて課でも夜に懇親会を実施すると、参加のハードルが高くなります。 そこで課の懇親会は**ランチの時間帯**に行うことで、メンバーの負担を減らすよう心がけています。

弊社は、性別、年齢、国籍、障がいの有無、の垣根を超えたダイバーシティを推進しており、時短やフレックスタイム勤務の人も多く、私の部署に限らず、ランチ会は開催されています。

部署間のコミュニケーションを目的とした**「S流飲みにケーション費」の支給制度は昼・夜の懇親会どちらにも利用でき**、ランチ会などで積極的に活用されています。

サントリーホールディングス株式会社
CSR推進部　課長　川井様

「部ランチ」開催される店舗実例①

「部ランチ」が頻繁に開かれているお店の事例

■東京・イタリアン「サバティーニ・ディ・フィレンツェ　大丸東京店」

・3年ほど前の東京駅八重洲口に企業移転が増えてきたころから、「部ランチ」が増えてきた。**女性社員グループでの利用**が多く、**送別会や達成会**に代表される懇親会が多い。
・**週に1回は3～15名**程度での「部ランチ」予約あり。
問い合わせ自体は2～3倍ほどある。
・パスタランチ1,800円、ランチコース2,700円のうち、**2,700円**の方が良く注文される。**お酒は飲まない人**がほとんど。会社経費で支払う人が6割。

「部ランチ」開催される店舗実例②

「部ランチ」が頻繁に開かれているお店の事例

■銀座・鉄板焼き「栃木屋」

・ランチは2,000円前後のものしか用意していなかったが、
2014年1月頃より、常連から「**ランチ接待**が増えてきている」という話を聞き、
ランチで5,000円コースを作ったところ、ランチ接待はもちろん、
達成会、送別会などの「部ランチ」の予約も入ってきた。
・**お酒は飲まない**人が多い。「この後も仕事があるから」と、ノンアルコールビールを飲む人もいる。
・常連からは**「夜にオフィシャルな飲み会を行うのを嫌がれることが多い」**と聞いた。

飲食領域における2015年予測

キーワード

企業のオフィシャルなコミュニケーションの場
（歓送迎会、忘新年会、懇親会、達成会etc.）
が昼間に設けられる傾向

部ランチ

子育て世代の女性の就労率の上昇に伴い、
夜に開催される会社宴会に参加が出来ない人が増加。

また、ワークライフバランスへの意識変化や
子育て女性に限らないプライベート確保の機運などからも
企業内の懇親行事の開催が**夜→昼に移行**するケースが増加。